

令和7年度全国学力・学習状況調査結果（湖西市）

湖西市教育委員会

7月に、文部科学省は4月に実施した全国学力・学習状況調査の結果を公表しました。調査結果について、全国の正答率と併せて、湖西市の子どもたちの様子をお知らせします。

1 調査の概要

- ◆目的 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◆実施日 令和7年4月17日
- ◆実施対象 小学6年生
- ◆調査内容
 - ・教科調査（国語、算数、理科）
 - ・生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

2 結果の概要（全国との比較）

教科	
国語	○
算数	○
理科	△

質問紙	
国語への関心等	△
算数への関心等	○
理科への関心等	○
規則正しい生活	○
自分に関すること	○
学校・友達に関すること	◎
家庭学習に関すること	△

◎＝全国平均を上回る（+1.1以上）
 ○＝全国平均とほぼ同じ（±1.0以内）
 △＝全国平均を下回る（-1.1以下）

教科に関すること

○よいところ

教科	問題番号	内容・領域	問題の概要	出題の趣旨	正答率（市）	全国との比較
国語	2二	書くこと	・山田さんが手ぬぐいの模様について言葉と図で説明した理由として適切なものを選択する。	・図表などを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。	83.4	◎
	2四 イ	言葉の特徴や使い方	・【ちらし】の下線部イを、漢字を使って書き直す。（あついで）	・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる。	77.2	◎
	3一	言語文化	・【資料1】を読んで思い出した【木村さんの経験】を通して、木村さんが気付いたこととして適切なものを選択する。	・時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くことができるかどうかをみる。	83.2	◎

教科	問題番号	内容・領域	問題の概要	出題の趣旨	正答率(市)	全国との比較
算数	1(3)	データの活用	<ul style="list-style-type: none"> 示された表から「春だいこん」や「秋冬だいこん」より「夏だいこん」の出荷量が多い都道府県を選ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な二次元の表から、条件に合った項目を選ぶことができるかどうかをみる。 	72.0	○
	2(1)	図形	<ul style="list-style-type: none"> 示された平行四辺形をかくために、コンパスの開く長さを書き、コンパスの針を刺す場所を選ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 平行四辺形の性質を基に、コンパスを用いて平行四辺形を作図することができるかどうかをみる。 	66.7	◎
	3(1)	数と計算	<ul style="list-style-type: none"> 0.4+0.05について、整数の加法で考えるときの共通する単位を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 小数の加法について、数の相対的な大きさを基に、共通する単位を捉えることができるかどうかをみる。 	74.4	○
理科	1(3)	「地球」の領域	<ul style="list-style-type: none"> 【結果】や【問題に対するまとめ】から、中くらいの粒の赤玉土に水がしみ込む時間を予想し、予想した理由とともに選ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、【結果】や【問題に対するまとめ】を基に、他の条件での結果を予想して、表現することができるかどうかをみる。 	79.0	◎
	2(3)	「エネルギー」の領域	<ul style="list-style-type: none"> ベルをたたく装置の電磁石について、電流がつくる磁石を強めるため、コイルの巻数の変え方を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 電流がつくる磁力について、電磁石の強さは巻数によって変わることを知識が身に付いているかどうかをみる。 	78.3	○
	4(2)イウ	「粒子」「地球」の領域	<ul style="list-style-type: none"> 水の蒸発について、温度によって水の状態が変化するという知識と関連付け、適切に説明しているものを選ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 水の蒸発について、温度によって水の状態が変化するという知識を基に、概念的に理解しているかどうかをみる。 	66.7	◎

△もう少しがんばりたいところ

教科	問題番号	内容・領域	問題の概要	出題の趣旨	正答率(市)	全国との比較
国語	1ー	話すこと 聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> 【話し合いの様子】における小森さんの傍線部の発言を説明したものと適切なものを選択する。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる。 	48.5	△

教科	問題番号	内容・領域	問題の概要	出題の趣旨	正答率(市)	全国との比較
国語	3二(2)	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 【資料3】を読み、【木村さんのメモ】の空欄イに当てはまる内容として適切なものを選択する。 	<ul style="list-style-type: none"> 事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができるかどうかをみる。 	50.6	△
	3三(1)	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 【話し合いの様子】の田中さんの発言の空欄Aに当てはまる内容として適切なものを選択する。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて、文章や図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる。 	38.0	△
算数	1(2)	データの活用	<ul style="list-style-type: none"> 都道府県Aのブロッコリーの出荷量が増えたかどうかを調べるために、適切なグラフを選び、出荷量の増減を判断し、そのわけを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて適切なグラフを選択して出荷量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる。 	28.9	△
	3(2)	数と計算	<ul style="list-style-type: none"> $3/4 + 2/3$ について、共通する単位分数と、$3/4$ と $2/3$ が、共通する単位分数の幾つ分になるかを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述できるかどうかをみる。 	20.5	△
	4(4)	変化と関係	<ul style="list-style-type: none"> 10%増量したつめかえ用のハンドソープの容量が、増量前の何倍かを選ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 「10%増量」の意味を解釈し、「増量後の量」が「増量前の量」の何倍になっているかを表すことができるかどうかをみる。 	35.4	△
理科	2(1)	「エネルギー」「粒子」の領域	<ul style="list-style-type: none"> アルミニウム、鉄、銅について、電気を通すか、磁石を引き付けられるか、それぞれの性質に当てはまるものを選ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることの知識が身に付いているかどうかをみる。 	7.7	△
	3(2)	「生命」の領域	<ul style="list-style-type: none"> ヘチマの花粉を顕微鏡で観察するとき、適切な像にするための顕微鏡の操作を選ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 顕微鏡を操作し、適切な像にするための技能が身に付いているかどうかをみる。 	44.8	△

教科	問題番号	内容・領域	問題の概要	出題の趣旨	正答率(市)	全国との比較
理科	3(4)	「生命」の領域	・レタスの種子の発芽の結果から、てるみさんの気づきを基に、見いだした問題について書く。	・レタスの種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現することができるかどうかをみる。	23.1	△

◆成果と課題

全国の正答率と湖西市の結果とを対比させると、国語および算数の正答率はほぼ同じ、理科の正答率はやや下回るという結果でした。また、算数、理科への関心は全国平均を上回り、国語への関心は全国平均を下回る結果となりました。

- ・国語：「知識及び技能」の内容で正答率が高く、学習の定着が伺えました。しかし、「思考力、判断力、表現力等」の内容、特に「読むこと」の領域で、全国平均を下回る問題がいくつか見られました。
- ・算数：「図形」と「測定」の2領域が全国平均を上回り、その他3領域（「数と計算」、「変化と関係」、「データの活用」）は、全国平均を下回りました。特に、「変化と関係」と「データの活用」の領域は、全国と同様に正答率が低いという課題が見られました。
- ・理科：「エネルギー」の領域で正答率が高い結果でしたが、「生命」の領域の問題すべてで全国平均を下回る結果となりました。

また無解答率は、国語、算数、理科ともに、選択式・短答式・記述式の回答を問わず、全国平均より高く、自分の考えに自信をもったり、最後までねばり強く取り組んだりすることを苦手とする児童が多いことが分かりました。

◆今後の取り組み 湖西市では、各学校で6月までに「振り返り」を実施しました。

- 問われていることについて、要点に下線を引いたり、大切な言葉を囲んだりする等、問題を理解するための具体的な手法を示しながら指導した。
- 苦手とした問題について解説し、類似問題を解いたり、日常的な場面から考えたりする場面を設けた。
- 家庭学習を活用して基礎定着を図ったり、読書の習慣を身に付けたりできるよう、便り等を活用し、具体的な手法を紹介した。

★国語★

- ・何を問われているのかを理解できるようにするために、要点に下線を引いたり、大切な言葉を囲んだりする等の具体的な手法を身に付ける指導を継続的に行う。
- ・資料や友達の意見をもとに考えたり、複数の資料を関連させて説明したりするなど根拠を明らかにして自分の考えをまとめる場面を意図的・計画的に設定する。
- ・読書指導を継続することで、長文を読む習慣を身に付けたり、想像力や表現力を養ったりする。

★算数★

- ・他教科や生活場面と算数で学習したこととを関連付けることで、算数のよさや大切さに気付いたり、生活に生かしたりできるように指導する。
- ・生活場面と関連付けた文章問題やグラフなどの統計資料を提示し、立式の過程を順序だてて説明したり、問われていることを明確化したりできるようにする。

★理科★

- 観察や実験を通して発見したこと、学んだことをもとに、児童自身が新たな次の課題を見つけられる工夫を行う。
- 観察や実験の結果から、考察や結論をまとめる際に、数値を用いたり、比較や変化を根拠にしたりするなど、自分の考えを分かりやすく伝えられるよう指導する。

○国語、算数、理科の授業において、日頃から新聞やニュースを活用して、統計的なデータや各種情報に触れる機会を意図的に設定したり、その傾向について児童が必要感をもって考えたりする取組を重視する。

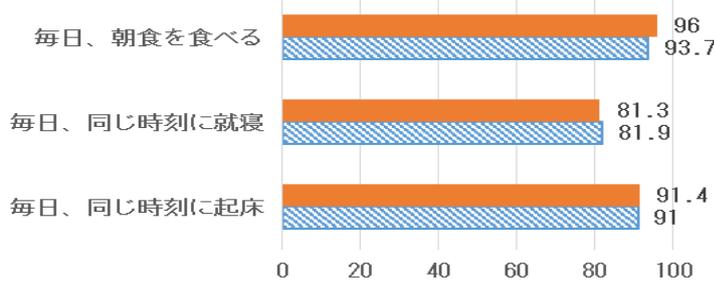
今回の調査結果をもとに、各学校で改めて分析を進めています。それぞれの学校における実態を再度把握し、さらに授業改善を進めていきます。

質問紙調査に関すること

質問紙には、合計71の質問がありました。湖西市の子どもたちのよいところ、がんばりたいところを紹介します。

■湖西市 ■全国

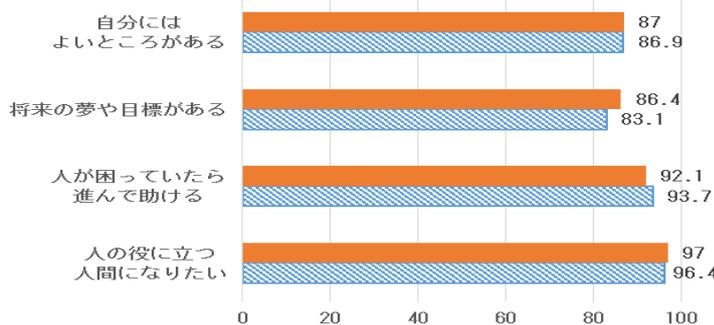
規則正しい生活…○



毎日、朝食を摂ると、頭と体がしっかり目覚め、脳の働きも活発になって集中力が高まります。

また、良質な睡眠は、体の成長だけでなく、記憶の整理や学習の定着も促します。テレビやゲームなどは、使用時間や終わる時間を決めて使い、今後も規則正しい生活を送っていただけるよう、御家庭でも、声掛けや見守りをお願いします。

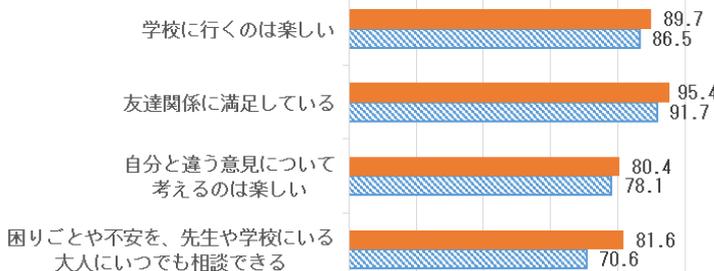
自分に関すること…○



「将来の夢や目標がある」と答えた児童の割合が全国平均と比べて高い傾向にあります。夢や目標があると、様々な活動を意欲的に行うことができます。

将来の夢がまだ具体的には決まっていない人は、「こんな人になりたい」という目標を見つけることから始めてみてはいかがでしょうか。

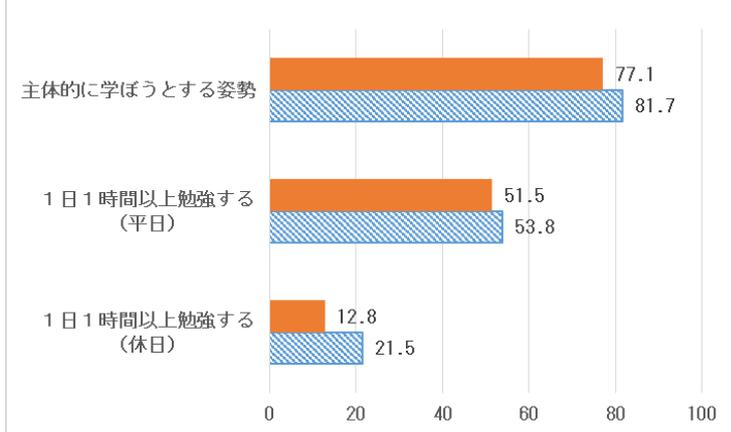
学校・友達に関すること…◎



多くの児童が「学校が楽しい」「友達関係に満足している」と答えていることが分かりました。特に「困りごとや不安を、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」が全国と比べ高い結果でした。

学校は、いろいろな人とのかかわりについて学ぶ場です。今後も困りごとや不安がある時は、「一人で悩まず、まわりの話せる人に相談しましょう」というメッセージを学校からも伝えていきます。

家庭学習に関すること…△



家庭学習に関する項目全てで、全国平均を下回っています。勉強する意味や今後の自分に必要な勉強はどんなことか考えることが大切ではないでしょうか。中学生に向けて、まずは1日1時間、机に向かってみることをおすすめします。

家庭でも、学習や娯楽にICT機器が欠かせなくなっています。今回の調査では、SNSや動画視聴の時間が長いほど、全教科において、平均正答率が低い傾向が見られました。使用する時間や場所、内容など、いま一度お子さんとルールを話し合ってみてください。

学びの基礎 7つの取り組み

愛情と思いやりのあふれる家庭づくり

湖西市では、「学びの基礎7つの取り組み」を発達段階に応じて設定し、推進しています。食事や運動、睡眠など、学びの基礎となるのは基本的な生活習慣です。学力調査の結果からも、生活習慣と学力の相関関係が出ています。今後も家庭と学校、地域が連携して、子どもたちの学びの礎を築いていきましょう。御協力をよろしくお願いいたします。

- ことばを使って思いを伝えましょう
- 進んであいさつをしましょう
- 早寝・早起きの習慣をつけましょう
- テレビやゲームの使用は、ルールを守りましょう
- 体を動かして体力をつけましょう
- 友だちといろいろなことにチャレンジしましょう
- 朝ごはんをしっかり食べましょう

調査問題や正答例を詳しく見たい方はこちらからどうぞ

